

定例会見(令和5年1月25日) 議事次第



○登壇者

代表取締役社長 由木 文彦(ゆき ふみひこ)

管理事業本部長 八木 茂樹(やぎ しげき)

サービスエリア・新事業本部長 吉見 秀夫(よしみ ひでお)

○会見内容

1. 深夜割引等の見直し
2. 営業概要(令和4年度第3四半期)
3. 1月24日からの大雪対応状況
4. 交通事故発生状況(令和4年)
5. 渋滞予測チャレンジコンテストの開催
6. SA・PAのプロモーション(冬季)
7. HIBIYA RIDE開業10周年
8. ドラぷらいノベーションラボ 採択7社決定

○質疑応答

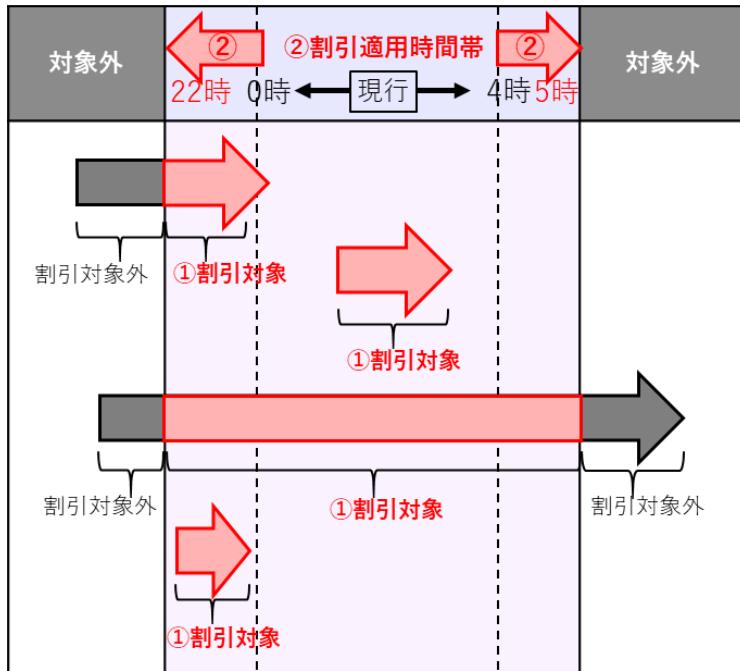
1. 深夜割引等の見直し

NEXCO

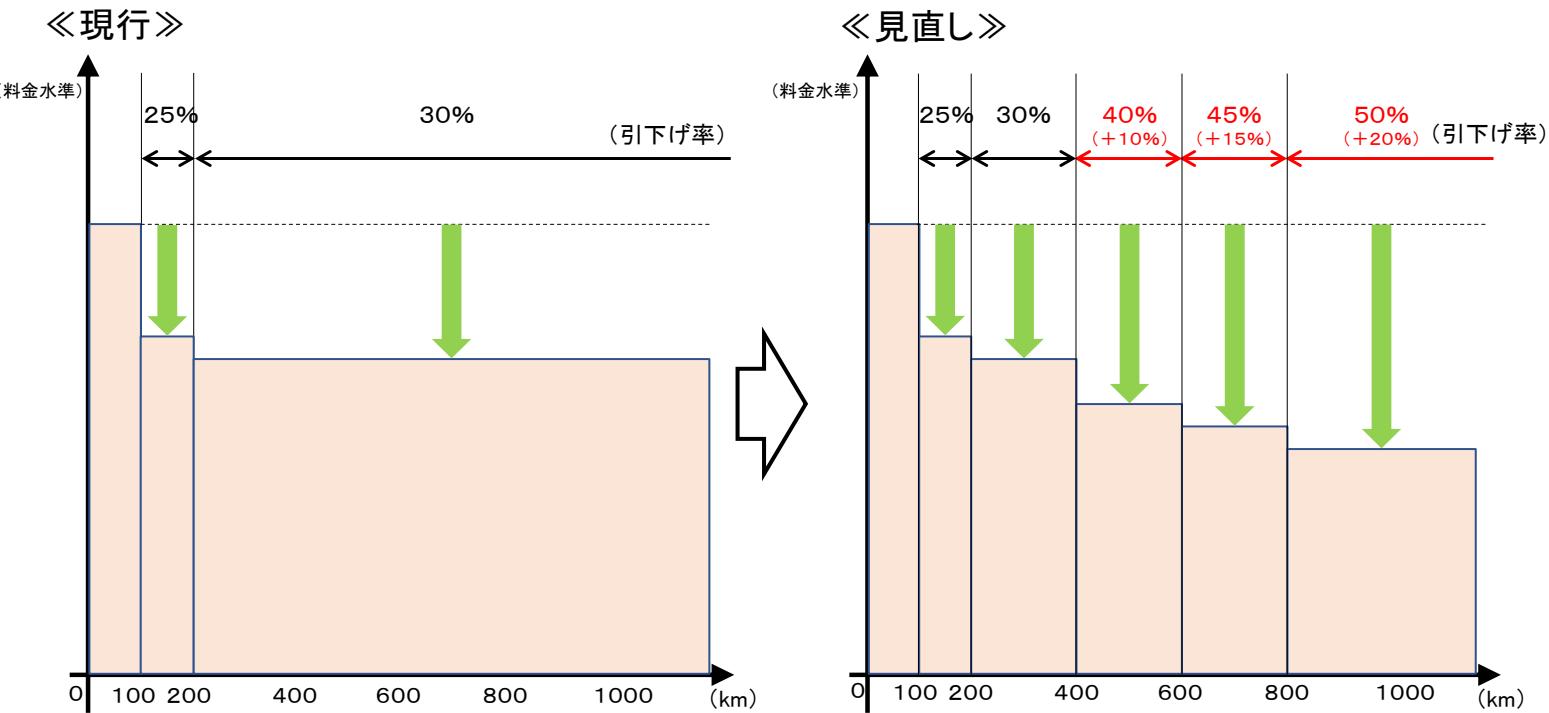
- 割引適用待ちの車両滞留を踏まえ、割引適用時間帯の走行を対象として割引。
- トラック運転手等の負担軽減のため、割引適用時間帯を拡大。
※深夜割引を「ETCマイレージサービス」または「ETCコーポレートカード」への
後日還元型による割引制度に変更
- 割引の見直しにあわせて、400km超の長距離遞減制を段階的に拡充

【深夜割引等の見直しのポイント】

- ①深夜割引適用時間帯に走行した分のみ3割引
- ②割引適用時間帯を22時から5時に拡大



③長距離遞減制を段階的に拡充

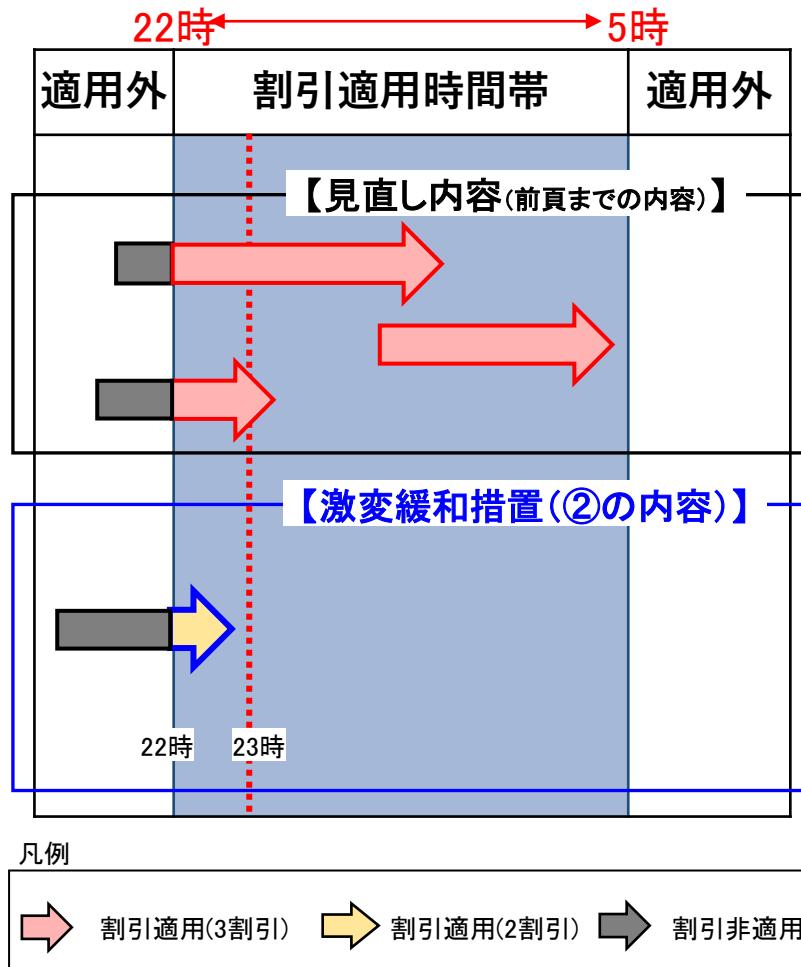


1. 深夜割引等の見直し



- 割引見直しによる長距離利用者通行料金負担増や、新たな交通集中を抑制することを目的に、運用開始後当面の間は激変緩和措置を実施（5年程度）。

【激変緩和措置のポイント】



深夜割引の見直し内容（要点）

(※前頁までの内容)

- ・深夜割引適用時間帯に走行した分のみ割引
- ・深夜割引適用時間帯を22時から翌5時に拡大

割引の見直し運用開始後の経過措置（5年程度）

- ①深夜割引適用車両のうち1,000km以上走行した場合は、1,000kmを超える部分を割引対象走行分に追加

$$\text{深夜割引の実質割引率}^{\ast\ast} = \left(\frac{\text{割引適用時間帯の走行距離} + \boxed{1,000\text{kmを超えて走行した距離}}}{\text{全走行距離}} \right) \times 30\%$$

※実質割引率の上限は3割とする

- ②22時台に高速道路を流出した車両について、22時台に走行した分の割引率を2割引

$$\text{深夜割引の実質割引率} = \left(\frac{\text{割引適用時間帯の走行距離}}{\text{全走行距離}} \right) \times \boxed{20\%}$$

2. 営業概要(令和4年度第3四半期)



- 第3四半期の通行台数・料金収入は、ともに前年をやや上回った。
- 『飲食・物販部門』の売上高は、外出される方が多く、前年を上回った。
- 『GS部門』の売上高は、平均単価が上がったため、前年を上回った。

(1) 営業の状況

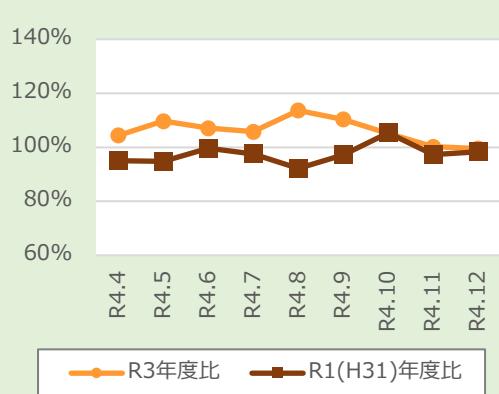
① 通行台数・料金収入の状況

【通行台数】	台数(千台/日)	R3年度比	R1(H31)年度比
第3四半期計	2,971千台/日	101.6%	100.3%
R4年度累計	2,941千台/日	106.0%	97.4%

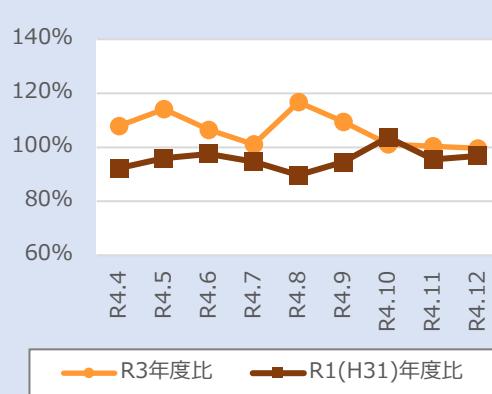
【料金収入】	収入(百万円・税抜)	R3年度比	R1(H31)年度比
第3四半期計	202,151百万円	100.4%	98.7%
R4年度累計	607,096百万円	106.1%	95.5%

※参考値(速報)のため、料金収入の確定値とは一致しない可能性があります。

通行台数(R4年度・月別)



料金収入(R4年度・月別)



② 車種別の走行台キロ

【第3四半期計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
R3年度比	107.7%	103.5%	100.6%	101.3%	103.2%	103.3%
R1(H31)年度比	105.1%	96.3%	95.7%	99.7%	91.4%	97.5%
【R4年度累計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
R3年度比	116.7%	114.5%	101.6%	102.2%	108.2%	111.3%
R1(H31)年度比	98.8%	90.3%	94.9%	99.7%	88.5%	92.8%

(2) ETCの利用率

ETC(12月)	ETC2.0(11月)
93.0%	30.6%

【関東地区 主要料金所及び路線のETC利用率】	
関越道: 新座本線	95.8%
東関東道: 習志野本線	96.1%
東北道: 浦和本線	96.9%
東京湾アライ: 98.5%	
常磐道: 三郷本線	96.4%
東京外環道: 96.6%	

(3) SA・PAの状況

	第3四半期累計 (百万円)	R3年度比	R1(H31) 年度比	R4年度累計 (百万円)	R3年度比	R1(H31) 年度比
飲食・物販	23,852	113.3%	99.1%	71,385	129.5%	88.6%
GS	15,637	102.6%	109.3%	45,686	110.8%	106.7%
合計	39,490	108.8%	102.9%	117,071	121.5%	94.9%

【営業施設のあるSA・PA】 196カ所(SA:78、PA:118)

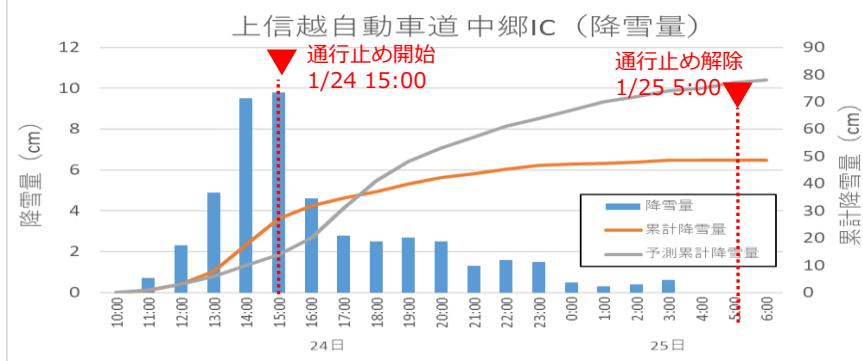
3. 1月24日からの大雪対応状況

北陸道・上信越道 大雪による通行止め（1月24日～25日）

- 1月24日～25日にかけて今冬最強寒波、24日夕方から北陸地方を中心に大雪。
 - 降雪の強まった1月24日15時から北陸道、上信越道で並行する国道8号、18号との同時通行止めを実施。（通行止め時間（各路線最長）：北陸道4時間50分、上信越道14時間00分）
 - 北陸道及び並行する国道8号を先行して解除し、上信越道及び並行する国道18号を1月25日5時に解除。

■ 降雪量 (1/24(火)12:00 (降り始め) ~1/25(水)6:00)

道路名	観測地点	累計降雪量	時間最大降雪量
北陸道	名立谷浜	22cm	4.7cm (24日18時)
上信越道	中郷	48cm	9.8cm (24日15時)



■ 時系列

24日(火) 15:00 降雪の強まりに合わせて並行国道8号、18号と同時通行止め開始
(北陸道①長岡JCT→朝日IC ⑤朝日IC→西山IC、上信越道①⑤長野IC~上越JCT)
15:40 事故発生に伴い約80台の滞留が発生(上信越道②豊田飯山JCT、信濃町IC)

15:40 事故発生に伴い約80台の滞留が発生（上信越道⑦豊田飯山IC～信濃町IC）
※ 滞留車の乗員に体調確認、炊き出し配布、トイレ手配などの乗員保護を実施

19:00 国道8号通行止め解除

19:50 北陸道(上)(下)全線通行止め解除

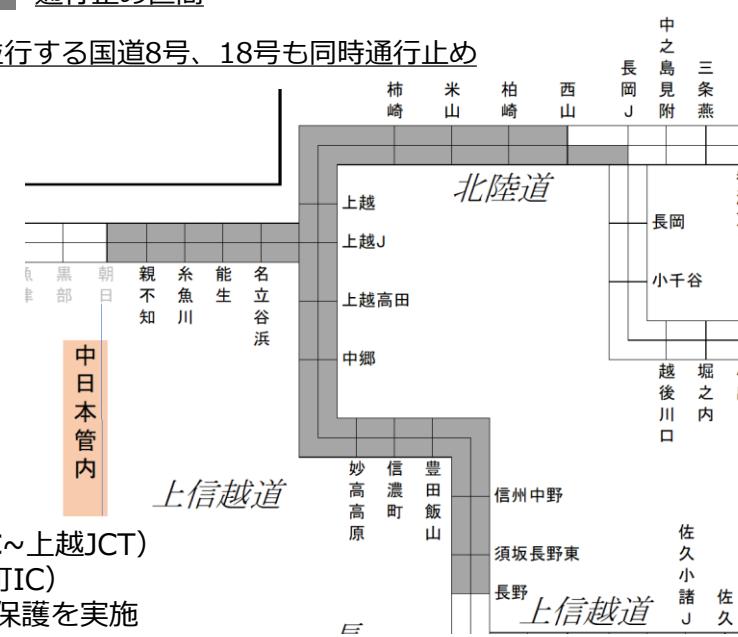
25日(水) 02:00 滞留車両の全車流出完了

05:00 上信越道及び国道18号全線通行止め解除

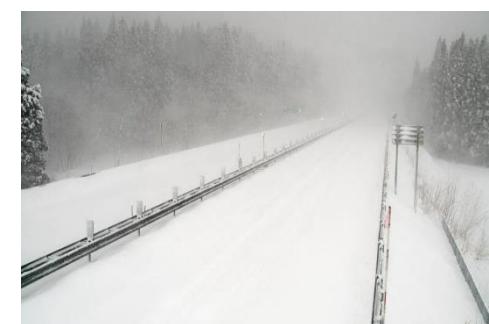
■通行止め状況(1/24 15:00時点:通行止め開始(範囲最大))

通行止め区間

※並行する国道8号、18号も同時通行止め



北陸道 柏崎 IC付近 (24日17時)



上信越道 中郷 | C付近 (24日16時)

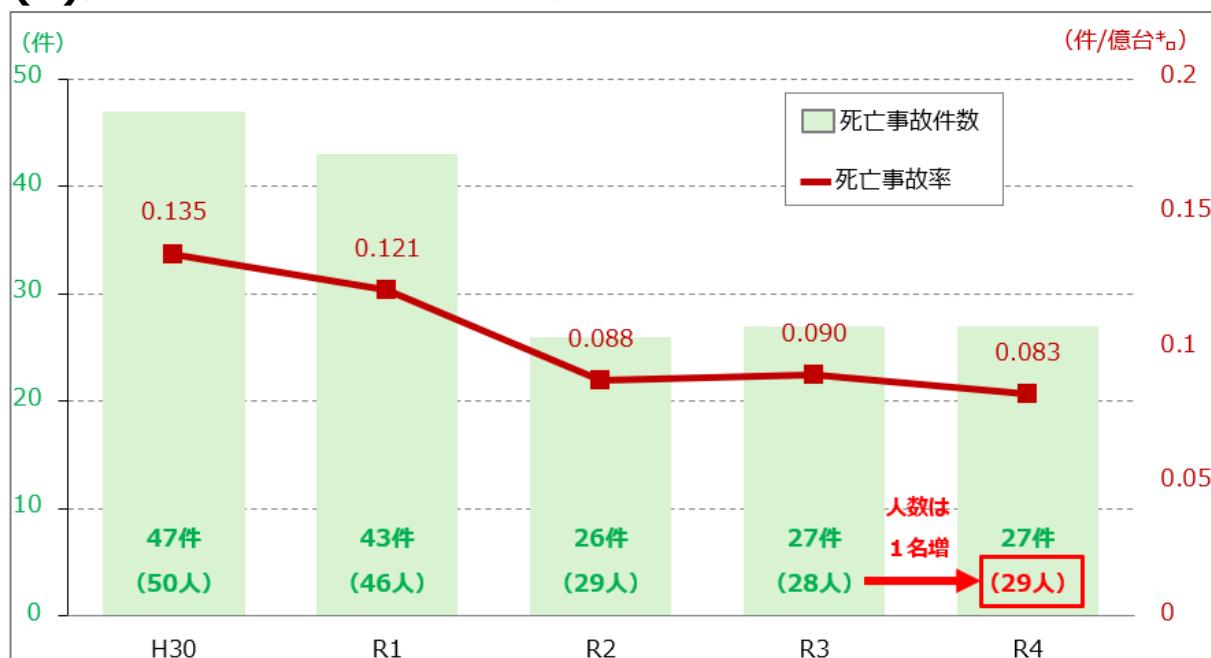
4. 交通事故発生状況（令和4年）

NEXCO

- 死亡事故件数は27件(対前年±0件)、死亡者数は29人(同+1人)
- 死傷事故件数は1,094件(同+141件)
- 単独死亡事故件数は15件(同+5件)

(1) 死亡事故件数(人数)・死亡事故率

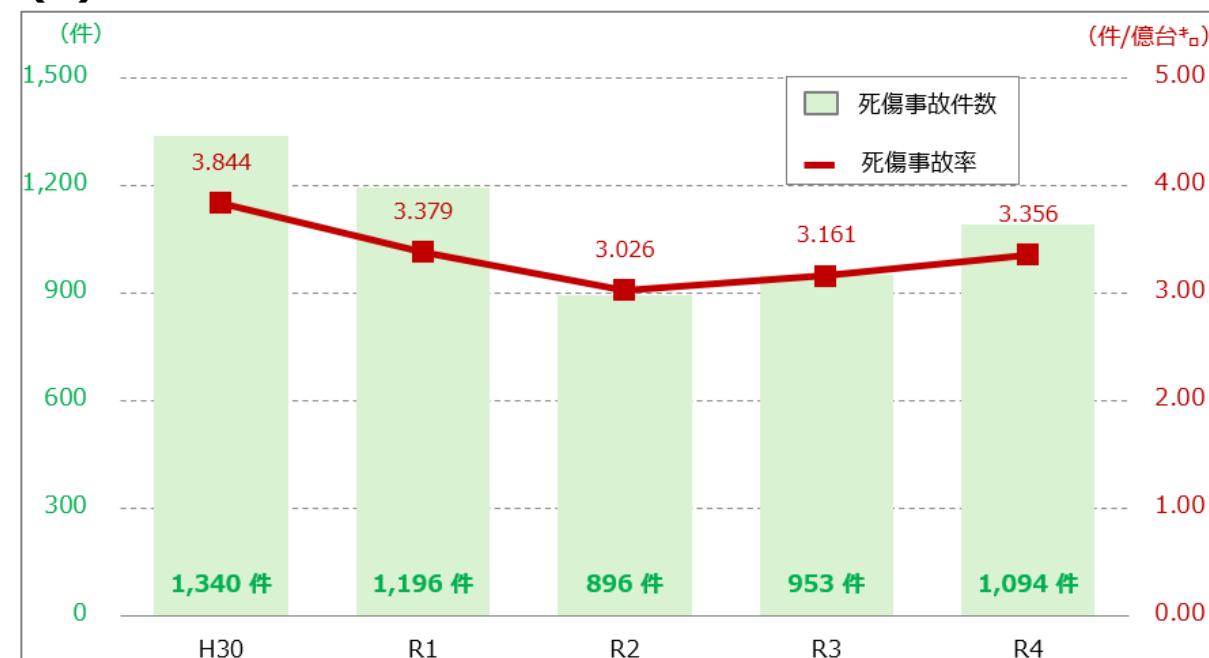
(NEXCO東日本調べ 速報値)



- ・死亡事故件数：対R3年比±0件
 - ・死亡事故人数：対R3年比+1人
 - ・死亡事故率※：対R3年比▲0.007件/億台キロ
- ※走行台キロ(億台キロ)あたりの死亡事故件数

(2) 死傷事故件数・死傷事故率

(NEXCO東日本調べ 速報値)



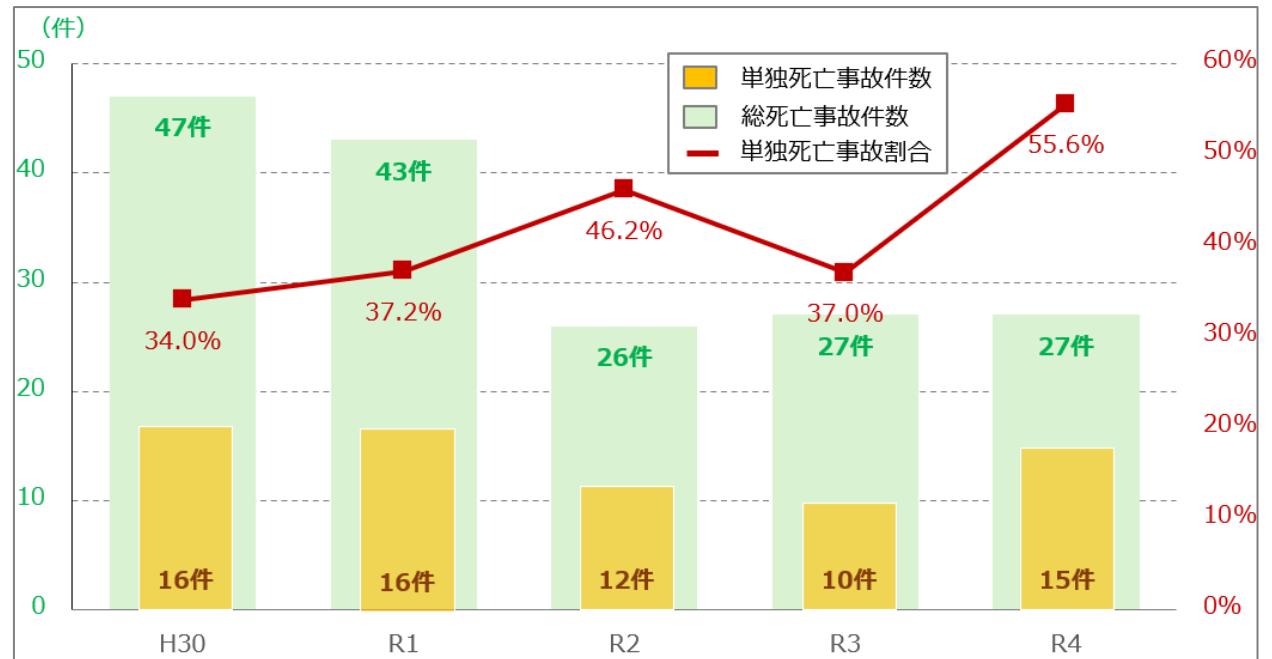
- ・死傷事故件数：対R3年比+141件
 - ・死傷事故率※：対R3年比+ 0.195件/億台キロ
- ※走行台キロ(億台キロ)あたりの死傷事故件数

4. 交通事故発生状況（令和4年）



3. 単独事故による死亡事故件数

(NEXCO東日本調べ 速報値)



- ・単独事故による死亡事故件数：対R3年比+5件
- ・R4年の単独死亡事故割合※(55.6%)は過去(H18年以降)最大。

※総死亡事故件数に占める単独死亡事故件数の割合

【事故事例】

R4.6月	館山道	走行車線を進行中、速度超過によりハンドル操作を誤り、IC流出部の分岐に衝突したものの。
R4.9月	常磐道	路肩側法面に衝突し車外放出され、車両が横転停止したものの。

○安全速度を守る



令和3年の高速道路等における死亡事故の約13%がスピードの出し過ぎによるもの(第一当事者・警察庁資料による)。天候や路面状況の悪い時は、速度が規制されることがあります。速度標識に注意して、道路状況にあつた安全速度で走行しましょう。

○十分な車間距離をとる



路面が乾燥している場合は、時速100kmでは約100m、時速80kmでは約80mの車間距離をとる必要があります。路面が雨に濡れている場合には、この約2倍の車間距離が必要です。前の車との車間距離を十分に取りましょう。

○わき見運転をしない



考えごとや景色に気をとられて、わき見運転をしていませんか？車は時速100kmでは1秒間に約28mも進みます。わき見運転は、追突や玉突き事故の原因となることがあります。

5. 渋滞予測チャレンジコンテストの開催



- 東京大学大学院 情報学環と実施している「データ利活用の取り組みに関する共同研究」の一環として「渋滞予測チャレンジコンテスト」を開催。
- ドラぷらルート検索データを利用した新たな渋滞予測モデル開発と、高速道路をテーマとしたデータ活用アイデアを募集。

■スケジュール
1月25日：応募開始
2月16日：説明会
3月31日：応募締切
4～5月：渋滞予測・精度評価
6月：1次選考
7月：最終選考・表彰式

■応募資格
法人・個人を問わずどなたでも応募可能

■応募方法
コンペティションサイト『SIGNATE』から申込み

	モデリング部門	アイデア部門
課題	ドラぷらルート検索データを活用した高速道路の渋滞予測モデル開発 関越道・館山道の、4月からGWまで(令和5年4月1日～5月7日間の指定日)における翌日0時～24時の渋滞を予測するアルゴリズムを作成	高速道路をテーマとした、データを活用した新しいアイデア提案
最終提出物	予測モデル (ソースコード、学習済みモデル等)	レポート(PDF)
当社からの提供データ	①交通量・速度データ(トラフィックカウンターデータ) ②高速道路料金・ルート検索データ ※約1年半分	モデリング部門と同様 ※既存の高速道路に関連するデータや今後取得できる可能性があるデータ取得を想定することも可能 ※外部データも利用可能
評価方法	提出された予測とGWの実際の結果を比較 【精度賞】予測精度による定量評価 【モデリング賞】精度賞受賞者を対象とした予測モデルの定性評価	審査員による定性評価
賞金	【精度賞】1位40万円、2位25万円、3位10万円 【モデリング賞】25万円 ※各1件	【グッドアイデア賞】20万円 ※2件



5. 渋滞予測チャレンジコンテストの開催



- 渋滞予測チャレンジコンテストは「自動運転社会の実現を加速させる次世代高速道路の目指す姿(構想)」の一環です。
- コンテストを活用し、新たなアイデアで渋滞予測の高度化を目指します。



自動運転社会の実現を加速させる 次世代高速道路の目指す姿(構想) とは?

高速道路機能・サービスの高度化と社会的課題の解決に向けた新たなモビリティサービスを提供するために、令和3年4月28日に公表したものです。

次世代高速道路の目指す姿を実現するため、「短期的な課題を解決するための変革」と「長期的な未来をつくるための調整」として31からなる「重点プロジェクト」を立ち上げ検討しています。



愛称：moVision(モビジョン)
(Mobility+Vision)

6. SA・PAのプロモーション（冬季）



（1）『これぞご当地No.1！おみやげ総選挙』投票結果速報

- お客様投票企画『これぞご当地No.1！おみやげ総選挙』において、見事第1位に輝いた人気おみやげ品をご紹介！

[キャンペーン概要]

- 投票期間：令和4年12月16日(金)～令和5年1月15日(日)
- 実施内容：キャンペーン特設サイトにて、立候補商品の中から各部門1品ずつお好みのおみやげ品を選んで投票いただくと、抽選で豪華賞品をプレゼント
- 立候補商品：お菓子部門 ご飯がすすむおかず部門 SAPA限定商品部門 各12品

お菓子部門	ご飯がすすむおかず部門	SAPA限定商品部門
 ① 白い恋人 ② 12枚入り950円他 ③ 道央道 輪厚PA(上下) 他6力所	 ① 牛たん真空パック ② 3枚入1,890円他 ③ 東北道 国見SA(上下) 他17力所	 ① よこすか海軍カレー ② 540円 ③ 横浜横須賀道路 横須賀PA(上)

※①商品名、②販売価格(税込)、③販売場所

※販売箇所はR4.11月時点の情報です。商品の内容や価格、取扱いに変更がある場合があります。

6. SA・PAのプロモーション（冬季）

NEXCO

お菓子部門	ご飯がすすむおかず部門	SAPA限定商品部門
 <p>① ままどおる ② 12枚入り1,500円他 ③ 東北道 安達太良SA(上下)他21力所</p>	 <p>① 三陸海宝漬 ② 150g 2,250円他 ③ 東北道 岩手山SA(上下)他10力所</p>	 <p>① あだたらラーメン ② 4食入り 1,080円 ③ 東北道 安達太良SA(下)</p>
 <p>① 喜久福 ② 詰合せ12個入 1,543円他 ③ 東北道 菅生PA(上下)他14力所</p>	 <p>① 野沢菜漬 ② 680円 ③ 上信越道 横川SA(上下)他17力所</p>	 <p>① 尾瀬のはちみつおかき ② 380円 他 ③ 関越道 赤城高原SA(上)</p>

※①商品名、②販売価格(税込)、③販売場所

※販売箇所はR4.11月時点の情報です。商品の内容や価格、取扱いに変更がある場合があります。



これぞご当地No.1!
**おみやげ
総選挙**

商品情報や販売箇所は特設サイトにてご確認いただけます。

立候補した商品以外にも、各SA・PAでは地域の魅力溢れるおみやげ品を多数取り揃えています。

特設サイトでは、“SA・PA厳選！おすすめおみやげ”として他にも魅力溢れるおみやげ品紹介していますので、ぜひチェックしてみてください。



お気に入りの
おみやげを見つけよう!

地域・販売場から探す
地図から探す

地域・販売場から探す
地図から探す

6. SA・PAのプロモーション（冬季）



(2)フェア・キャンペーン情報



【地域】千葉県内的一部SA・PA

【内容】対象SA・PAで配布するチラシをアウトレットに持ち込むと特典クーポンをプレゼント

【期間】開催中～5月7日

【地域】栃木・群馬・埼玉・長野県内的一部SA・PA

【内容】対象メニューを食べるとクーポンが当たるスクラッチカードをお渡し

【期間】2月1日～2月28日

【地域】北海道内的一部SA・PA

【内容】対象の名産品を含む税込2,000円以上のお買上げでトートバッグプレゼント

【期間】開催中～2月28日



他にも、あったかメニューを開催するグルメフェアを展開中！

- ・おすすめ麺類メニューを提供「東北推し麺対決」
(岩手・宮城・福島県内の対象SA・PA)
- ・寒い冬にピッタリなおすすめのラーメンを提供「ぐるっとラーメン巡り」
(茨城・千葉・神奈川県内の対象SA・PA)

また、2月1日からは、対象メニューをお召し上がりのお客さまにコーヒー1杯無料券をお渡しする「ホットコーヒーサービスキャンペーン」(新潟県内を中心としたSA・PA)も開催予定！



SA・PAでは「ENJOY! よりみち」をテーマに、統一口ゴを用いて地域や季節ならではのプロモーションを展開中。

この冬は「～心あたたまる冬～」がサブテーマ。

最新情報はドラぷら内「ENJOY! よりみち」サイトよりご確認ください。
https://www.driveplaza.com/special/enjoy_yorimichi/



7. HIBIYA RIDE開業10周年



- サイクリスト・ランナー向けのサービス提供施設「HIBIYA RIDE(ヒビヤライド)」がR5年2月で開業10周年
- 当該施設や自転車通勤(ジテツウ) の魅力を更に発信するため、3~6月にかけて記念イベントやキャンペーンを実施

記念イベント(要事前申込)	サイクリスト向け キャンペーン(要事前申込)	ランナー向け キャンペーン(要事前申込)	YouTubeによる動画配信
安田大サーカス団長安田さん、田代恭崇さん、中川絵美里さんによるサイクリスト向けマナーアップセミナー及び実走体験(最大50名) 当日集合場所：HIBIYA RIDE	自転車通勤のお試しをサポート 電動自転車を無料レンタル、ロッカー、シャワーの利用料無料 (期間中最大40名)	3名以上1組のグループプランニングをサポート ロッカー、シャワーの利用料無料 (期間中最大160名)	Moeさんによる、HIBIYA RIDEと自転車通勤の魅力を紹介する動画をYouTube配信
3月26日	4月3日～(2カ月間)	4月3日～(2カ月間)	2月中旬～

記念イベント等にご参加の上、新たに3か月以内に会員登録をいただいた方の月会費を1か月分無料にします。



安田大サーカス団長安田さん



田代恭崇さん



中川絵美里さん



Moeさん

8. ドラぷらいノベーションラボ 採択7社決定



- アクセラレータプログラム『ドラぷらいノベーションラボ』の第Ⅱ期採択企業を決定
- 応募総数92件の中から、7件を採択

企業名		提案内容
1	株式会社イバラキエアポート エンタープライズ	 水素燃料電池ドローンによる長距離 配送
2	株式会社LightblueTechnology	 AIを用いた工事発注資料作成支援 システム
3	株式会社ONE STEP	 鉛バッテリーの延命化
4	ゴールデンバーグ株式会社	 無人販売機による新たな商品展開
5	小畠産業株式会社	 超撥水コート剤を用いた標識等の雪庇 対策
6	農業生産法人株式会社 グリーンズグリーン	 緑化と防草を一体化した苔シート
7	REALITY株式会社	 メタバース×高速道路による新たな 顧客体験の創出

※社名50音順

募集・応募概要

- 募集期間：令和4年8月1日～10月3日
- 応募総数：92件(昨年度比+8件)
- 募集テーマ：
 - ① “ヒト”“モノ”的移動をアップデートする
 - ② SA・PAの価値向上、新たな顧客体験の創出
 - ③ SA・PAをハブとした地域の魅力創出・発信
 - ④ サステイナブルな事業運営の実現
- 検証予算：総額2,500万円



ドラぷらいノベーションラボとは？



オープンイノベーションの一環として、スタートアップ等との共創により、新たな技術・サービスを用いて会社または地域の課題解決に寄与し、お客様の安全・安心・快適・便利を向上させ、ひいては成果を高速道路に限らず実社会でも活用することにより幅広く成果の還元を目指すものです。

令和3年にスタートした高速道路会社による国内初のアクセラレータープログラムです。